

## 陸上競技選手における 競技パフォーマンスと巧緻性能力の関連

順天堂大学大学院  
スポーツ健康科学研究科  
学籍番号：4119041  
氏名：松本 行矢

### 【目的】

陸上競技における大学生アスリートの巧緻性能力について、運動コントロール能力と競技力の関連性を中心に検証することを目的とした。

### 【方法】

陸上競技を専門とする健康な男子大学生 30 名を対象とした。運動課題は運動コントロール能力を担う、空間的・力量的・時間的コントロール能力の他、手指と足趾の巧緻性を評価した。質問紙では経験競技や習い事など、過去の経験を調査した。競技力の指標は国際陸上競技連盟が定める Scoring table を参考に自己ベスト記録を得点化したものを採用した。

### 【結果】

全被験者の競技力と各種測定値との関連を分析した結果、有意な相関関係は認められなかったが、空間的コントロール能力と時間的コントロール能力で低い相関関係が認められた。競技種目別で検証したところ、投擲種目で空間的コントロール能力テストと競技力に高い相関係数が得られた。ターン動作を伴い四肢の位置感覚や協調運動がパフォーマンスに貢献すると考えられる投擲種目において空間的コントロール能力が関連している可能性が考えられた。しかしながら、本研究で用いた測定評価方法では陸上競技を専門とするアスリートの競技力と巧緻性の関連を説明するには不十分であり、各競技種目の特性を考慮した巧緻性について今後検討していく必要がある。

### 【結論】

陸上競技を専門とする大学生アスリートの競技力と本研究で用いた測定法による巧緻性は一部の競技種目で関連する可能性が示唆された。測定・評価方法によってはより能力差が現れる可能性が考えられるため、多面的に運動課題等を吟味していく必要がある。